

|         |  |
|---------|--|
| 科目名     | 行政経営研究B（1クラス）  |
| 担当者     | 北川正恭   |
| 配当学期    | 秋学期  |
| 単位      | 2単位  |
| 授業概要    | 授業の形式については、講義中心にならないよう配慮し、ダイアログ、受講生による発表、学外見学、外部講師の招聘を組み入れていきたい。   |
| 授業の到達目標 | 本講義では、三重県知事として取り組んできた事例を中心に、地方自治体のフィールドにおける現実を見据えて、「生活者起点の行政」のあり方を検討する。具体的には、情報公開、評価システム、ファシリティマネジメント、コンピテンシー、NPO等のツールを分析し、どのように行政システム改革につなげていったのかを検討することにより、基本的な知識を習得するとともに、現実への応用についても可能な限り取り組んでいきたい。  |
| 授業計画    | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. イントロダクション</li> <li>2. 新しい価値の創造と予定調和の打破</li> <li>3. さわやか運動</li> <li>4. 事務事業評価システム</li> <li>5. 総合計画「三重のくにづくり宣言」</li> <li>6. 財政改革</li> <li>7. 組織運営改革</li> <li>8. 人事システム改革</li> <li>9. 県立病院改革</li> <li>10. 環境先進県づくり</li> <li>11. 情報先進県づくり</li> <li>12. 行政経営品質向上運動</li> <li>13. オフサイトミーティング</li> <li>14. NPO</li> <li>15. 授業のまとめ</li> </ol> |
| 教科書     | 北川正恭『生活者起点の「行政改革」』（ぎょうせい）  |
| 成績評価方法  | 講義では、受講者による発表を定期的に行うとともに、必要にあわせてダイアログを行うので、講義への出席を必須とする。評価については、講義への参加状況・中間レポート(20%)、2～3千字程度の期末レポート(80%)により総合的に評価する。なお、聴講者にもレポートを課すものとする。  |
| 備考      | <p>1クラスは、地方自治体派遣生、公務員志望者、2クラスは、社会人、一般学生を対象に行う。教科書を使用するので、講義開始時まで各自で購入しておくこと。また、副教材を第2回講義時に配布する。</p> <p>講義では、受講者による発表を行う。発表担当者は、受講者数分のレジュメを各自でコピーし、持参すること。パワーポイントを使用する場合は事前に連絡すること。</p>   |